

研修プログラム概要

研修期間	2	年間
研修病院（代表病院）	千葉西総合病院	
研修協力病院（パートナー病院）	千葉徳洲会病院	
研修協力薬局（パートナー薬局）	なし	

区分	研修項目 【ガイドライン推奨期間】	研修期間	研修時期	研修施設	研修のポイント・特色
必修	(1) 調剤業務 【3ヶ月程度】	6ヶ月	1年目(4-9月)	千葉西総合病院	・基本的な調剤・鑑査、疑義照会手技の確立、製剤、注射薬調剤 ・散剤・水剤・軟膏の混合調製手技の習得
必修	(2) 医薬品の供給と管理 【2週間以上】	2年	1年目(4-3月) 2年目(4-3月)	千葉西総合病院	・麻薬、向精神薬、毒薬等の管理実務
必修	(3) 医薬品情報管理(DI) 【2週間～1ヶ月】	2週間	1年目(5-6月) 2年目随時	千葉西総合病院	・質疑応答の実践 ・DIニュース作成・システム管理
必修	(4) 病棟業務 (薬剤管理指導) 【6ヶ月程度】	18ヶ月	1年目(10-3月) 2年目(4-3月)	千葉西総合病院	・担当病棟とし、4カ月ローテーション ・担当患者を持ちカンファレンスへ参加 ・症例報告(10症例)の作成 ・在宅研修時にパートナー病院で地域包括ケア及び療養病床を研修
必修	(5) 在宅訪問 【1ヶ月程度】	1ヶ月	2年目随時	千葉徳洲会病院	・連携する「千葉徳洲会病院」にて実習 ・居宅療養管理指導への同行、多職種連携の実践
必修	(6) 医療安全 【全期間】	2年	1年目(4-1月) 2年目(4-3月)	千葉西総合病院	・インシデントレポート分析、疑義照会集計 ・プレアポイド報告
必修	(7) 感染制御 【全期間】	2年	1年目(4-1月) 2年目(4-3月)	千葉西総合病院	・ICTラウンド、抗菌薬使用届出の確認等薬剤師の役割の理解 ・標準予防策(手指衛生等)の実践
必修	(8) 地域連携 【全期間】	2年	1年目(4-1月) 2年目(4-3月)	千葉西総合病院	・常用薬最新薬歴の確認、トレーシングレポート運用、退院時薬剤サマリー作成、服薬情報等提供料3の依頼(パートナー病院研修期間中にも適用) ・地域住人向けの医療講演への参加 ・薬局薬剤師の役割(当院主催の連携勉強会への参加) ・離島、へき地医療の実践(2年目)
必修	(9) 無菌調製 【2週間】	1ヶ月	1年目(8月) 2年目(6月)	千葉西総合病院	・高カロリー輸液、抗がん剤の無菌調製手技 ・閉鎖式接続器具(CSTD)の適正使用指導・院内製剤について
必修	(10) がん化学療法 【1ヶ月】	1ヶ月	1年目(8月) 2年目(6月)	千葉西総合病院	・レジメンチェック、支持療法の提案 ・外来化学療法室での薬剤師外来(面談)の実践 ・千葉徳洲会病院は「千葉西総合病院」で薬剤師外来、アイソレータの研修
選択	(11) TDM	随時	1年目(10-3月) 2年目(4-3月)	千葉西総合病院	・抗菌薬・免疫抑制剤等の解析・投与設計レポート作成 ・解析ソフトの運用管理
選択	(12) 専門領域 (ICU・小児・産婦人科・精神科の薬物治療等)	(任意)	2年目(12-2月)	千葉西総合病院	・がん、感染、精神、緩和など特定領域 ・専門薬剤師資格取得要件となる症例の集積
選択	(13) その他	(任意)	2年目	千葉西総合病院	・研修の総括として院内または学会での症例発表

補足事項

- ・研修生の所属施設により研修時期は異なります
- ・(12)は研修生のニーズに対応して実施します